

テラム施工要領書

仮設橋架設編

フジアルファ株式会社

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-35-22-104

TEL 03-5431-3581 FAX 03-5431-1580

テラムを仮設橋に使用する時の施工要領書

I) 仮設橋 組立完了。

II) 仮設橋 覆工版上にテラム敷設。

※敷設直前に覆工板上の塵土小石等は完全に清掃除去してください。

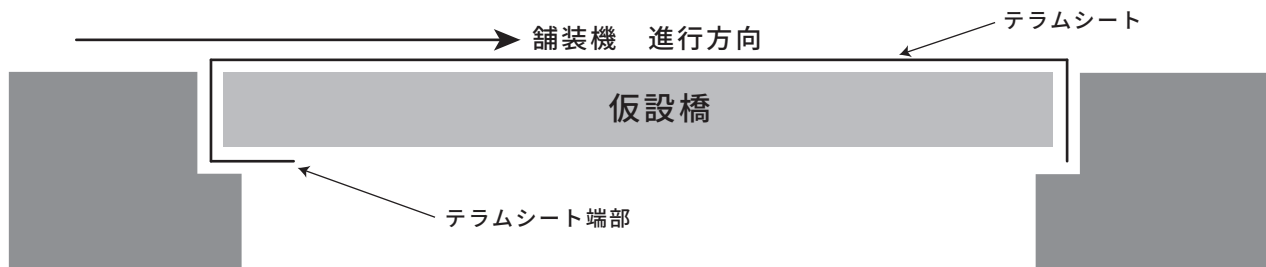
※幅の広い隙間にはガムテープ等でめばりをしてください。

1) 橋長側にテラムを敷設。

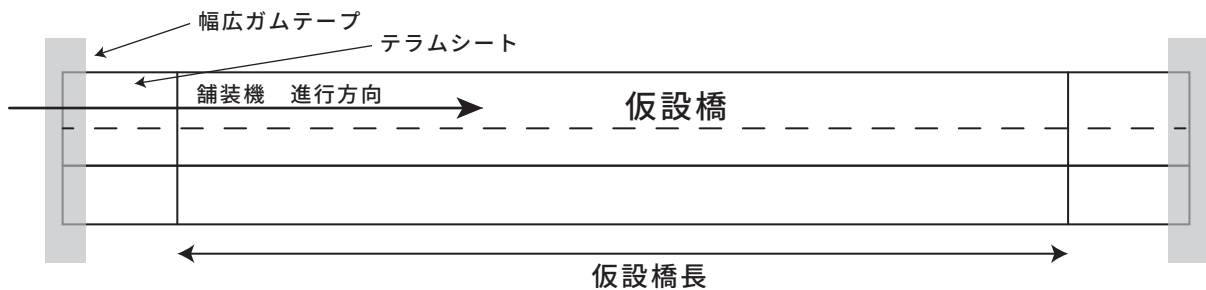
a) 橋端部にテラム端部を差し込む。

できれば覆工板の下側に巻き込む方が良い。

(特に舗装機が乗り入れる側)



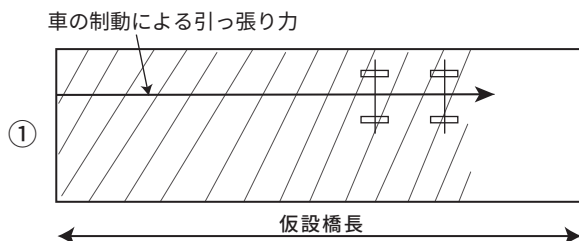
b) 仮設橋手前道路より敷設する場合は舗装機進入側端は幅広のガムテープで道路横断方向に押さえてください。



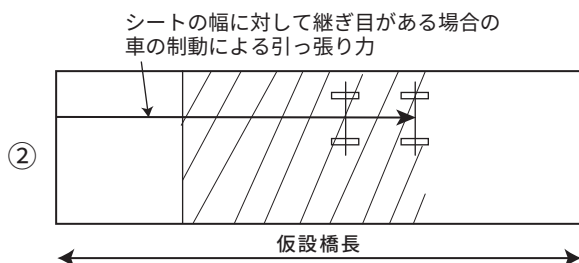
c) 橋長方向には出来る限り継ぎ場所を作らない様に注意してください。

※テラムシート長の関係上継ぎたす場合は、**1.0M以上**ラップしてください。

橋上で自動車がブレーキを作動した時に引張力が働く。



この走行中の自動車がブレーキングすることで矢印方向に引張力が働いたとき、①は斜線部分のアスファルト舗装部が抵抗力となるが、



②の場合は継ぎ目より前の部分の斜線部分のみが抵抗力となる。この距離が短いと引きずられる場合がある。ラップを多くとることでこの危険性が緩和される a) での端部を差し込む事もこの意味がある。

2) 橋幅方向にテラムを敷設。

a) テラムの規格幅が4.5Mの為、横幅がそれ以上の場合。

例えば幅8.0Mであれば、テラムを並列に2枚敷設し、
橋中心部でラップさせる。

(2枚上並列に使用する場合は、最低30cmラップしてください。)

b) テラムを敷設の場合、舗装機を最初に走行させるライン側のシートを上部になる様敷設してください。

c) テラム敷設時、河川上又は高所等の設置が多いため、
強い横風が想定される場合

テラムを覆工板に固定する為、両面テープ等を使用してください。

また端部が吹きあげられない様、ガムテープ等にて押さえてください。

さらに必要なら舗装機が走行までの間、加熱混合材を点置きして重しとしてください。
